

# 治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号ロイクラトン麹町  
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664  
ホームページ <http://www.zensuiren.org/>  
お問い合わせ [infoinfo@zensuiren.org](mailto:infoinfo@zensuiren.org)  
編集・発行 椿本和幸



[国土交通省 ダムツーリズム パンフレット Vol.41「ダムを見に行こう \(春号\)」R8.3 発刊](#)

## ● 目次

肱川激特事業竣工記念 肱川治水碑除幕式 国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 愛媛県土木部河川課	..... 2
肱川流域治水 都谷川排水機場起工式 国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所	..... 5

# 肱川激特事業竣工記念 肱川治水碑除幕式

国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所  
愛媛県土木部河川課

## 1. はじめに

肱川は、愛媛県の西南部に位置し、その源を愛媛県西予市の鳥坂峠（標高460m）に発し、“ひじ”のように大きく流路を曲げながら、小田川、船戸川など数多くの支川を合わせて大洲盆地を貫流し、伊予灘へ注ぐ県内最大の河川です。

平成30年7月豪雨により甚大な浸水被害を受けた肱川水系肱川及び久米川では、「肱川河川激甚災害対策特別緊急事業（以下、「激特事業」という）の採択後、概ね5カ年にわたり進めてきた堤防整備等が完了しました。

この激特事業の竣工を記念して、大洲市東大洲地区に「肱川治水碑」を建立し、令和8年3月7日、「肱川激特事業竣工記念 肱川治水碑除幕式」を執り行いました。

除幕式には、愛媛県知事をはじめ地元選出を含む国会議員や流域自治体の市町長、地元関係者など約100名に出席いただき、竣工と除幕を祝いました。



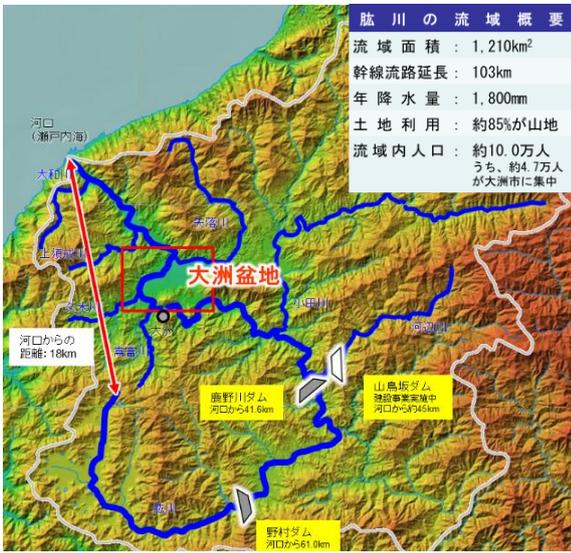
東大洲暫定堤防越流状況（平成30年7月）



東大洲地区の浸水状況（平成30年7月）



菅田地区の浸水状況（平成30年7月）



肱川流域の概要

## 2. 出水・被害の概要

戦後最大の流量を記録した平成30年7月豪雨では、最も人口・資産が集積する東大洲地区を含め、肱川全川に渡り甚大な浸水被害が発生しました。

## 3. 肱川緊急治水対策と激特事業の概要

平成30年7月豪雨により甚大な被害を受け、愛媛県管理区間も含めて激特事業が採択され、同年7月には、再度災害防止に向けて「肱川緊急治水対策」に着手しました。

①緊急の対応

河川（国・県）  
 ・予備費による樹木伐採、河道掘削  
 ・野村ダム下流などの土砂堆積部の河道掘削  
 ・暫定堤かさ上げ（+0.7m）

野村ダム  
 ・事前放流（600万m<sup>3</sup>を確保）  
 ・洪水貯留準備水位の更なる低下

野村ダム、鹿野川ダムの放流警報  
 ・新たな放流警報手法（試行開始）

鹿野川ダム改造により増大した容量の有効活用  
 ・野村ダム操作規則変更  
 ・鹿野川ダム操作規則変更

②概ね5年後

平成30年7月洪水を越水させない

下流河川（国・県）  
 ・激特事業による堤防整備、暫定堤防のかさ上げなど

野村ダム下流など  
 ・河道掘削などの対策を実施

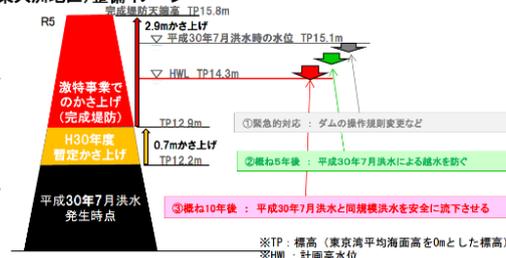
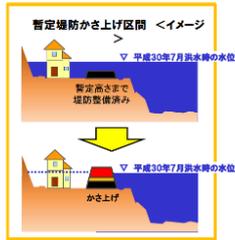
激特事業による流下能力向上により  
 可能となるダム操作規則の変更  
 ・野村ダム操作規則変更  
 ・鹿野川ダム操作規則変更※  
 ※詳細は検討中

③概ね10年後

平成30年7月洪水と同規模を安全に流下させる

更なる河川整備等  
 山鳥坂ダム完成（2032年度）  
 野村ダム改良完成

暫定堤防（東大洲地区）整備イメージ



肱川緊急治水対策



激特事業の概要

「肱川緊急治水対策」では、被災から概ね 10 年後を目処に進める計画として、3 段階で進める計画です。

激特事業はこの「肱川緊急治水対策」における②概ね 5 年後（平成 30 年 7 月洪水を越水させない）の目標に位置付けており、堤防整備等を約 370 億円（国 242 億円、県 128 億円）の事業費をもって実施し、国管理区間においては令和 6 年 3 月末、県管理区間においては令和 6 年 5 月末に完成しました。

4. 肱川治水碑に込められた思い

東大洲地区に建立した肱川治水碑は、激特事業の竣工を記念するだけでなく、「平成 30 年 7 月豪雨の被害状況とその対応を後世に伝えるとともに、災害の教訓を活かしながら、市民が一丸となって災害に強く、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを進めていくための道標にしたい」という思いを込めて、二宮大洲市長に揮毫いただいたものです。



肱川治水碑と記念碑

平成三十年七月豪雨は、肱川とともに歩んできたふるさとの風景を一変させました。肱川流域は未曾有の降雨に襲われ、尊い命が失われるとともに、家屋や事業所の浸水、道路の寸断など、災害後のまちは言葉に失うほどの惨状となりました。

この災厄に対し、国土交通省四国地方整備局と愛媛県は、直ちに「肱川河川激災災害対策特別緊急事業」をはじめとする再度災害防止に向けた工事に着手し、大洲市の肱川沿いで堤防整備や河道掘削などを進めてきました。

地元関係者をはじめ多くの方々のご協力とご尽力により、堤防整備を主体とする治水事業が水対策としてこの地域に根付いた。これからは肱川治水の地が未来へ向けさらなる発展を遂げることを願いここに記念碑を建立いたします。

令和八年三月吉日  
 国土交通省四国地方整備局  
 愛媛県

記念碑の記載内容

その右隣には、四国地方整備局と愛媛県の連名で激特事業による堤防整備等が地元関係者の皆様のご理解とご協力のもと無事に竣工したことを記念して記念碑を設置しました。

5. 除幕式の概要

肱川激特事業竣工記念 治水碑除幕式では、国土交通省四国地方整備局の豊口佳之局長及び愛媛県の中村時広知事より主催者挨拶があり、続いて、長谷川淳二衆議院議員をはじめとする来賓の皆様からご祝辞をいただきました。

引き続き、行政からの報告として、国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所の須田泰造所長、愛媛県南予地方局大洲土木事務所の岡本敬二所長より、事業概要の説明を行いました。

その後、除幕会場へ移動し、大洲臥龍太鼓保存会による勇壮な太鼓演奏の後、肱川治水碑除幕を行い除幕式を終了しました。



肱川治水碑除幕の様子



豊口局長の挨拶

## 6. おわりに

激特事業等によって肱川の治水安全度は大きく向上しましたが、今後も「つなごう肱川」を合い言葉に、流域の関係者が一丸となって上流から下流まで一体となった治水対策を進め、流域の皆様の生命と暮らしを守るため、引き続き全力で取り組んでまいります。



つなごう肱川 ロゴ (キャッチフレーズ)

「長浜(な)がはま」から「宇和(う)わ」・「内子(うちこ)まで(つなぐ)【上流から下流まで】「甚大な被害(赤)」から復興し、「清流肱川(青)」の復活へ(つなぐ)【未来へ・子どもたちへ】



中村知事 挨拶



長谷川議員 祝辞



山本議員 祝辞



山崎議員 祝辞



見城議員 祝辞



二宮大洲市長 祝辞

出席者挨拶・祝辞



大洲臥龍太鼓保存会による演奏

# 肱川流域治水 都谷川排水機場起工式

国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所

## 1. はじめに

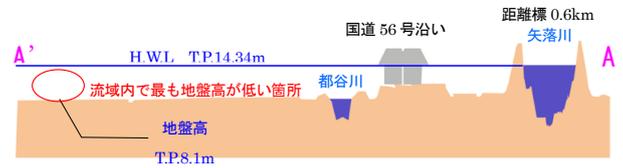
都谷川は、肱川水系矢落川の左支川であり、流域面積10.8km<sup>2</sup>、流路延長7.428kmを有し、大洲盆地を流れる一級河川です。都谷川には野田川、西和田川、古川が合流し、八幡浜・大洲地方拠点都市地域である商業集積地区を通り矢落川に合流しています。

都谷川流域は、矢落川及び山地に囲まれた低平地であり、合流先である矢落川のH.W.L(計画高水位)よりも低いため、洪水時には都谷川排水樋門の閉鎖により内水氾濫が発生しやすい、水害リスクの高い流域です。

このため、都谷川の内水氾濫に対して「流域治水」の考えを取り入れ、流域全体で被害軽減対策を進めることを目的として、令和5年4月に愛媛県が四国で初めて特定都市河川に指定し、同年12月に都谷川流域水害対策計画を策定しました。

本計画において国が整備を担う都谷川排水機場については、用地関係者等のご協力もあり、このたび工事に着工する運びとなったことから、令和8年3月7日、都谷川排水機場予定地において「肱川流域治水 都谷川排水機場起工式」を執り行いました。

起工式には、愛媛県知事をはじめ地元選出を含む国会議員や流域自治体の市町長、地元関係者、工事関係者など約100名に出席いただき、都谷川排水機場の起工を祝いました。



A-A'断面図

## 2. 出水・被害の概要

都谷川流域の東大洲地区では、大規模な浸水被害が繰り返し発生しており、近年では、平成7年、平成16年、平成17年、平成23年、平成30年に被害を確認しています。特に平成30年7月豪雨では、床上浸水781戸、床下浸水448戸に及ぶ大規模災害となったことから、肱川河川激甚災害対策特別緊急事業により暫定堤防の嵩上げを行い、矢落川の外水氾濫による浸水被害は概ね解消されました。今後は内水による浸水被害への対策が重要な課題となっています。

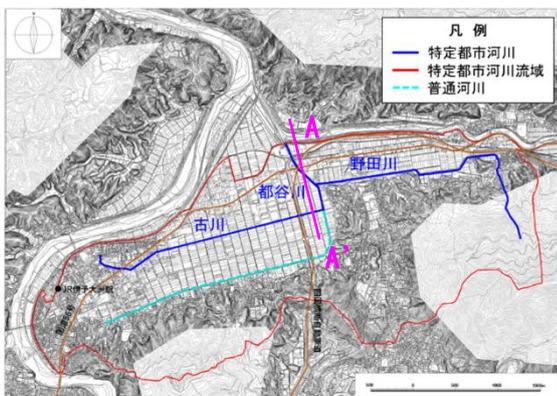
都谷川流域の主要洪水一覧表

発生日月	発生原因	被害状況		
		浸水面積 (ha)	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)
平成7年 7月	梅雨前線	370.0 <sup>※1</sup>	不明	不明
平成16年 8月	台風16号	209.6 <sup>※1</sup>	4 <sup>※1</sup>	50 <sup>※1</sup>
平成17年 9月	台風14号	175.0 <sup>※1</sup>	3 <sup>※1</sup>	13 <sup>※1</sup>
平成23年 9月	台風15号	85.1 <sup>※1</sup>	0 <sup>※1</sup>	2 <sup>※1</sup>
平成30年 7月	梅雨前線	457.6 <sup>※2</sup>	781 <sup>※3</sup>	448 <sup>※3</sup>

出典：※1平成23年度肱川内水解析業務 報告書

※2浸水実績範囲図から算定

※3平成30年7月豪雨災害の被害と復旧・復興の状況(大洲市)【令和4年12月1日現在】の浸水被害住家(棟数)の内、肱北・田口・若宮・平地区を集計



都谷川流域の主要河川



東大洲地区の浸水状況(平成30年7月豪雨)

### 3. 都谷川流域水害対策計画の概要

令和5年12月に国・県・市において策定した都谷川流域水害対策計画は、平成30年7月豪雨を計画対象降雨として、概ね20年で行う計画です。

(計画策定者) ・ 四国地方整備局長、愛媛県知事、大洲市長  
 (計画の目標) ・ 気候変動の影響があり、既往最大の被害を受けている  
 平成30年7月豪雨を計画対象降雨とする  
 (計画の期間) ・ 概ね20年

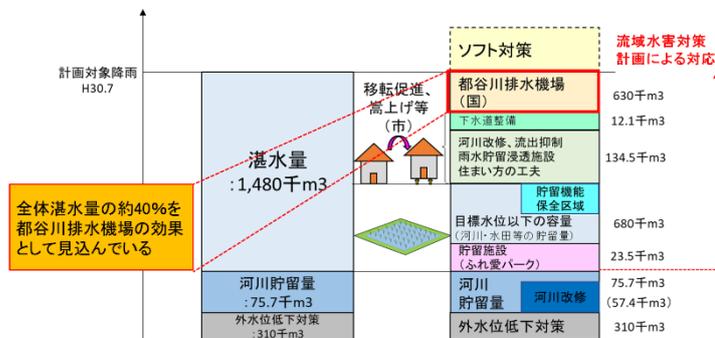
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策  
 (氾濫への対応)

② 被害対象を減少させるための対策  
 (建築物への対応)

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策  
 (脆弱性への対応)

#### 都谷川流域水害対策計画の概要

本計画では、計画対象降雨に対して床上浸水が解消できる目標水位以下とするため、それぞれの対策分担量を定めており、国においては都谷川に排水機場を整備し、全体湛水量の約40%を効果として見込んでいます。排水能力は、現在稼働している排水ポンプ車の約7倍に相当し、2.5mプールの水を約2.4秒で排水できる能力となります。



対策分担量



都谷川排水機場の整備イメージ

### 4. 起工式の概要

肱川流域治水 都谷川排水機場起工式では、国土交通省四国地方整備局の豊口佳之局長より主催者挨拶があり、続いて、愛媛県の中村時広知事、長谷川淳二衆議院議員をはじめとする来賓の皆様からご祝辞をいただきました。

引き続き、行政からの報告として、国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所の須田泰造所長より事業概要の説明を行いました。

その後、事業の安全かつ円滑な推進と、完成後の施設が地域の防災に大きく貢献することを祈念し、鍬入れが執り行われ、起工式を終了しました。



豊口局長の挨拶



出席者からの祝辞



鍬入れの様子

## 5. おわりに

都谷川排水機場の整備につきましては、1日でも早く完成できるよう鋭意進めるとともに、今後の都谷川流域の安全・安心の確保に向け、愛媛県や大洲市、流域住民の皆様と一体となり、流域全体の洪水被害を軽減する「流域治水」を着実に推進してまいります。